

特定健診・特定保健指導の推進ための効果的な研修の実際

研修の全体計画と運営

—愛知県における特定健康診査等の取組—



愛知県健康福祉部保健医療局健康対策課

健康づくりグループ 岩田 はるみ

報告内容

1 特定健診・保健指導研修会概要

- ・ あいち健康の森健康科学総合センター

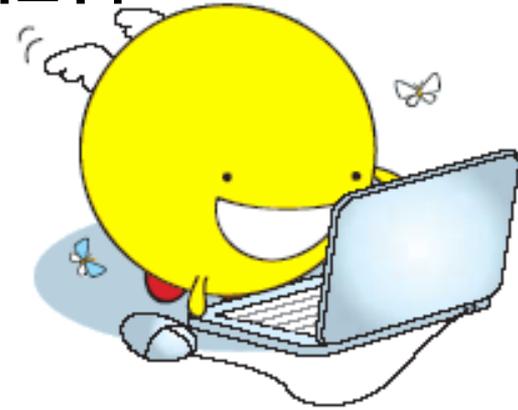
2 特定健診・保健指導研修会の経緯

(1)準備期

(2)実施初期

(3)実施中期

(4)第1期での研修評価から



3 第2期からの特定健診・保健指導研修会

4 今後に向けて

1 特定健診・保健指導研修会概要

(1)主催：愛知県

公益財団法人愛知県健康づくり振興事業団(あいち健康プラザ)

(2)開始年度

平成19年度から

(3)目的

特定保健指導を効果的に推進できる
人材を育成する。

(4)内容

① 基礎編・技術編 ② 計画・評価編

(5)募集

5月中旬よりHPにて

(6)修了証発行

「基礎編・技術編」においては、2日間全て、「計画・評価編」においては、1日全てのカリキュラムを受講した者にそれぞれ修了証を発行する。

計第 - 号
修 了 証
愛 知 花 子
昭 和 年 月 日 生
平成25年度特定健診・特定保健指導研修会 において、所定の課程を修了したことを証する。
<u>研修種類:実践者育成研修プログラム(計画・評価編)</u>
なお、本研修は、メタボリックシンドロームに着目した健 診・保健指導担当者の資質向上推進事業実施要綱 (厚生労働省健康局)に定める研修の内容を満たしたも のである。
平 成 年 月 日
愛知県知事
○ ○ ○ ○

あいち健康の森健康科学総合センター

(愛称:あいち健康プラザ)

所在地：愛知県知多郡東浦町

開設：平成10年

機能：県民の健康づくりを総合的に推進する
拠点施設

- ・健康開発実践機能

健康づくりを動機づけから実践指導まで幅広くサポート

- ・指導者養成機能

指導者の養成

- ・研究開発機能

厚生労働科学研究事業、大学の研究機関等と連携して、健康づくりに関する研究・開発を進め、実践に役立てる。

- ・交流・支援機能

教材の開発・作成、自治体、団体と連携し健康推進活動の実践・支援

等



2 特定健診・保健指導研修会の経緯

(1) 準備期（平成19・20年度）

<目標>

特定健診・特定保健指導を円滑に開始し、保健指導実施者が自信を持って実施できる。

<実施内容>

主催	回数	時期	主な内容等	
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	2日 × 3	8月 11月 2月	基礎編 技術編	<ul style="list-style-type: none">・初回面接の技法・保健指導の実際（結果説明・アセスメント・食生活・運動・たばこ・アルコール行動目標設定等）・積極的支援プログラムの作成・保健指導評価
愛知県 愛知県国民健康保険団体連合会	6	6月 7月 2月	計画策定 情報交換	<ul style="list-style-type: none">・国立保健医療科学院における研修報告・国民健康保険中央会研修報告・実施体制に関する調査結果報告（対象者・委託先選定・実施時期等）・国保ヘルスアップ事業の取組から特定保健指導を考える・特定健診・保健指導の基本的考え方・アウトソーシングの進め方・事例を通して保健指導を考える

(1)準備期（平成19・20年度）

<評価>

平成20年度から開始される新たな特定健診・特定保健指導を円滑に実施するために、研修ガイドラインに基づき、保健指導実施者が自信を持てることを目標としたため、伝達講習的な要素が大きくなった。

また、参加希望者が予定よりも多く、これに対応するための対応が必要となった。

<課題等>

○参加希望者に対応するため、開催回数を増やすことや広い会場の確保、調整が急遽必要となった。

○各関係機関と連携・調整が必要。

(2)実践初期（平成21年度）

<目標>

特定健診・特定保健指導の実践から課題を見つけ、課題解決につながるようにする。

<実施内容>

主催	回数	時期	内容等	
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	2日 × 3	6月 7月 9月	基礎編 技術編	前年度に引き続き、基礎的な内容を踏まえ、特定保健指導を実施して生じる課題に対応する内容を加える。
愛知県 愛知県国民健康保険団体連合会	2	9月 12月	計画・評価編	・特定健診・保健指導の分析評価-20年度を振り返って- ・市町村の事例 ・特定健診・保健指導の評価の実際

(2)実践初期（平成21年度）

<評価>

職域の保険者の事例も取り上げ、幅広い分野で活用できる内容とした。現場からの質問に、一つひとつに丁寧に答えるよう努め、疑問や課題解決のヒントとして役立つタイムリーな内容であった。

<課題等>

- 基礎編・技術編受講修了者が多くなり、基礎編・技術編以外で理解が不十分な分野の強化、基礎的な内容修了者を対象とした実践的な内容の研修企画が必要である。
- リピーターも受けたくなる魅力的な内容を取り入れていく必要がある。

(2)実践初期（平成22年度）

<目標>

特定健診・特定保健指導の実践から課題を見つけ、課題解決につながるようにする。

<実施内容>

主催	回数	時期	内容等	
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	3日 × 1	5月	基礎編 技術編	<ul style="list-style-type: none">・H20年度からのデータを分析した内容、保健指導参加群と対照群の比較、生活習慣病と医療費の関係など最新の情報が盛り込まれている。・困難事例に対する演習など個別の症例について検討するプログラムを取り入れている。・たばこに関する保健指導のプログラムでは、外部の専門の講師を招いて実施している。

(2)実践初期（平成22年度）

<評価>

- ・研修時期を、5～6月の開催として、年度の後半から始まる保健指導に対応できるようにした。
- ・保健指導の効果についての情報や個別症例を検討するプログラムを取り入れ、困難な事例に対応できるようにできた。
- ・3日間を1クールとしているが、1日のみの参加も可とし、参加しやすくした。

<課題等>

- 保健指導経験がある者が半数以上であるため、より実践に即したロールプレイ等のカリキュラムを充実させる必要がある。
- 参加しやすい工夫として、募集期間を長く設定する必要がある

(3)実施中期（平成23年度）

<目標>

特定健診・特定保健指導の中期の時期として、事業の評価をどうすべきか、何を期待されているか、評価できるようにする。

<実施内容>

主催	回数	時期	内容等	
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	2日 × 1	6月	技術力向上編	<ul style="list-style-type: none">・事業所、健診機関、医療機関からの参加者が多く、アウトソーシングをする側、受ける側の評価の視点など、それぞれの立場において有用な内容を取り入れている。・腹囲基準の根拠、保健指導の有効性、制度の方向性について意見がある中、指導者が自信を持って保健指導対象者に対応できるよう最新情報やデータを提供している。
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	1	10月	計画・評価編	<ul style="list-style-type: none">・健診・保健指導事業の計画策定・特定保健指導の現状・評価・評価方法とデータのまとめ方・先進事例・平成25年度からの特定健診・保健指導の方向性

(3)実施中期（平成23年度）

<評価>

- ・研修会のコースを基礎技術編だけではなく、計画評価編の2コースにわけ、評価の視点を取り入れた。
- ・研修終了後アンケートでは、知識の習熟度、カリキュラムの充実度において研修の有用性が確認できる回答が95%以上に達していた。
- ・腹囲基準の意義や考え方など、国の動向など最新情報の提供に心掛け、アンケート結果からも満足度が高かった。

<課題等>

- 講義だけでなく、ディスカッションや困難事例のロールプレイなどのカリキュラムが求められている。

(3)実施中期（平成24年度）

<目標>

特定健診・特定保健指導の第2期に向けて、課題を整理し、今後の方向性を考えることができるようにする。

<実施内容>

主催	回数	時期	内容等	
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	1	6月	計画・評価編	<ul style="list-style-type: none">・国の動向（平成25年度からの特定健診・保健指導の実施方法）・愛知県の現状・市町村国保の現状・グループワーク～よりよい保健指導のために～・平成25年度に向けた課題整理と今後の方向性
愛知県 愛知県健康づくり振興事業団	2日 × 1	9月	基礎編 技術編	<ul style="list-style-type: none">・保健指導制度概要・現状・今後の方向性・困難事例について対象者を理解するためのシートを活用したディスカッション・保健指導を評価し、次年度の改善につなげるために・外部講師による食事指導、アルコールに関する保健指導等 基本的なプログラムの上に指導者にとってより強化する必要がある内容に重点を置いている。

(3)実施中期（平成24年度）

<評価>

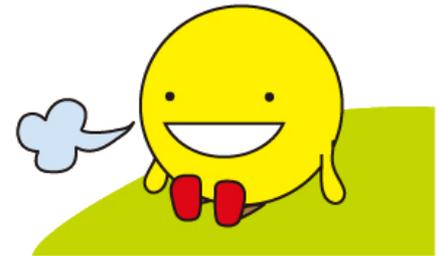
- ・第2期に向けて関心が高く、定員を超える参加者があるなど、研修への期待が大きい。
- ・第2期に向け国の動向や最新情報を得られることへの満足度が高い。
- ・より専門的なカリキュラムを組み入れ、指導者としての技術力の向上を図れた。
- ・研修開催の時期を次期計画策定に間に合うよう、工夫して設定できた。

<課題等>

- 情報交換の機会や健診・保健指導の評価方法を深く知りたいなどの要望を取り入れていく必要がある。
- 参加希望が多く、会場を事前に調整する必要があった。

(4)第1期での研修評価から

- ・研修事業の評価をし、保健指導者として苦手分野の克服や課題解決につながるよう、より実践に役立つカリキュラムの提供
- ・受講者の経験年数等の違いなどによるニーズの多様化への対応
- ・「標準的な健診・保健指導プログラム(改訂版)」に加えられた内容をより効果的に実践できる研修メニューの工夫
- ・特定健診・特定保健指導の実践結果から、PDCAサイクルに基づいた保健事業への展開をめざす
- ・国の動向など最新の情報提供



3 第2期からの特定健診・特定保健指導研修会

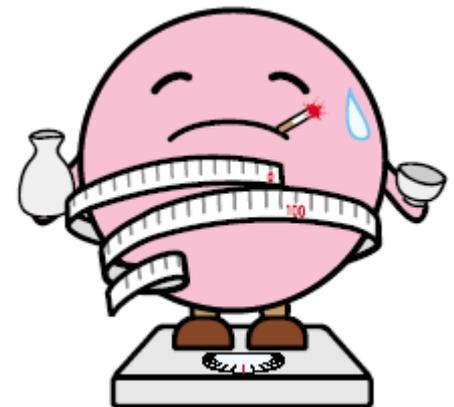
目的

<基礎編・技術編>

第2期の開始により、更なる保健指導の質の向上が求められる現状を踏まえ、新しい標準プログラムを理解し、行動変容につなげられる知識・技術を身につける。

<計画・評価編>

第1期を踏まえ、個人、事業、集団、各レベルでの適切な評価を行い、計画を立てていくために必要な統計の知識や評価方法を習得する。



平成25年度カリキュラム

○基礎・技術編

＜目標＞保健指導の弱点を克服し、第2期に向けて推進できる。

＜実施内容＞

1日目	2日目
特定健診・特定保健指導 総論 保健指導実施者としておさえるべきポイント あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代	保健指導に使える歯科の健康と生活習慣病の関連 あいち健康の森健康科学総合センター 歯科医師
	行動科学に視点から見た保健指導アプローチ あだち健康行動学研究所 所長 足立淑子
メタボと検査値の関連 あいち健康の森健康科学総合センター 開発部長 村本 あき子	事例から考えるー見えてますか対象者の気持ちー あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代
食事に関する保健指導 あいち健康の森健康科学総合センター 管理栄養士	保健指導の評価について あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代
日常生活に取り入れやすい運動 身体活動基準2013を踏まえて あいち健康の森健康科学総合センター 健康運動指導士	業務に伴う変更点等について 愛知県国保連合会 愛知県健康福祉部健康対策課
行動変容を促す禁煙支援のポイント あいち健康の森健康科学総合センター 保健師	まとめ・質疑応答 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代

平成25年度カリキュラム

○計画・評価編

<目標>

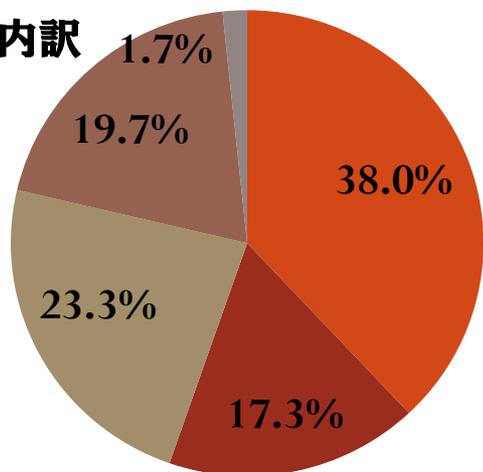
第1期の評価を踏まえて、第2期開始において適切な評価ができる。

<実施内容>

平成25年度カリキュラム（計画・評価編）
第1期評価を踏まえて第2期スタート 適切な評価を行い、計画につなげるために あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代
評価に役立つ統計の知識 愛知県衛生研究 広瀬かおる
グループワーク
まとめ・質疑応答

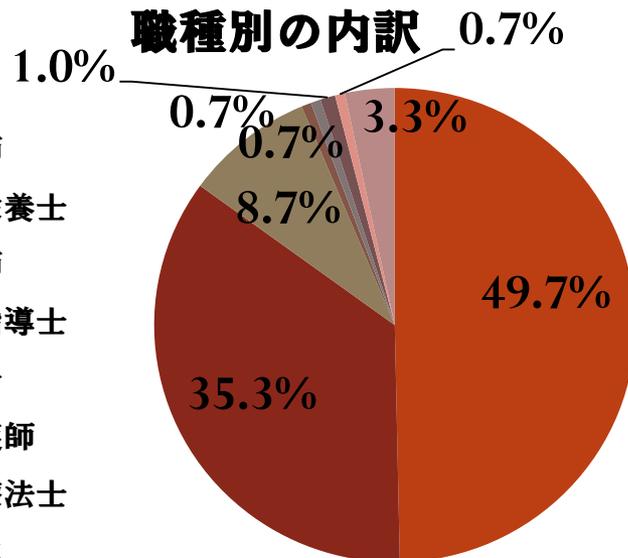
H25年度 基礎・技術編 参加者の状況

所属別の内訳



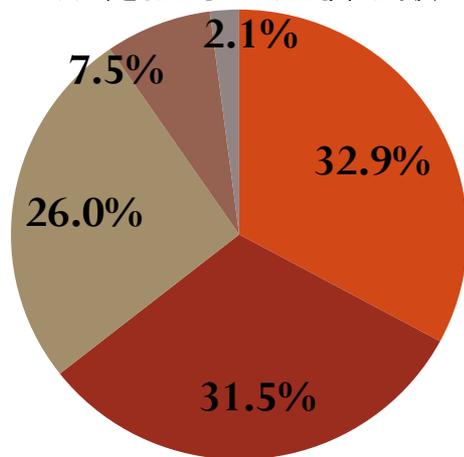
■ 医療機関 ■ 保健指導機関 ■ 行政 ■ 企業 ■ その他

職種別の内訳



■ 保健師
■ 管理栄養士
■ 看護師
■ 運動指導士
■ 栄養士
■ 准看護師
■ 理学療法士
■ その他

保健指導の経験年数



■ 1年未満 ■ 1～3年 ■ 4～9年 ■ 10年以上 ■ 未記入

n=146

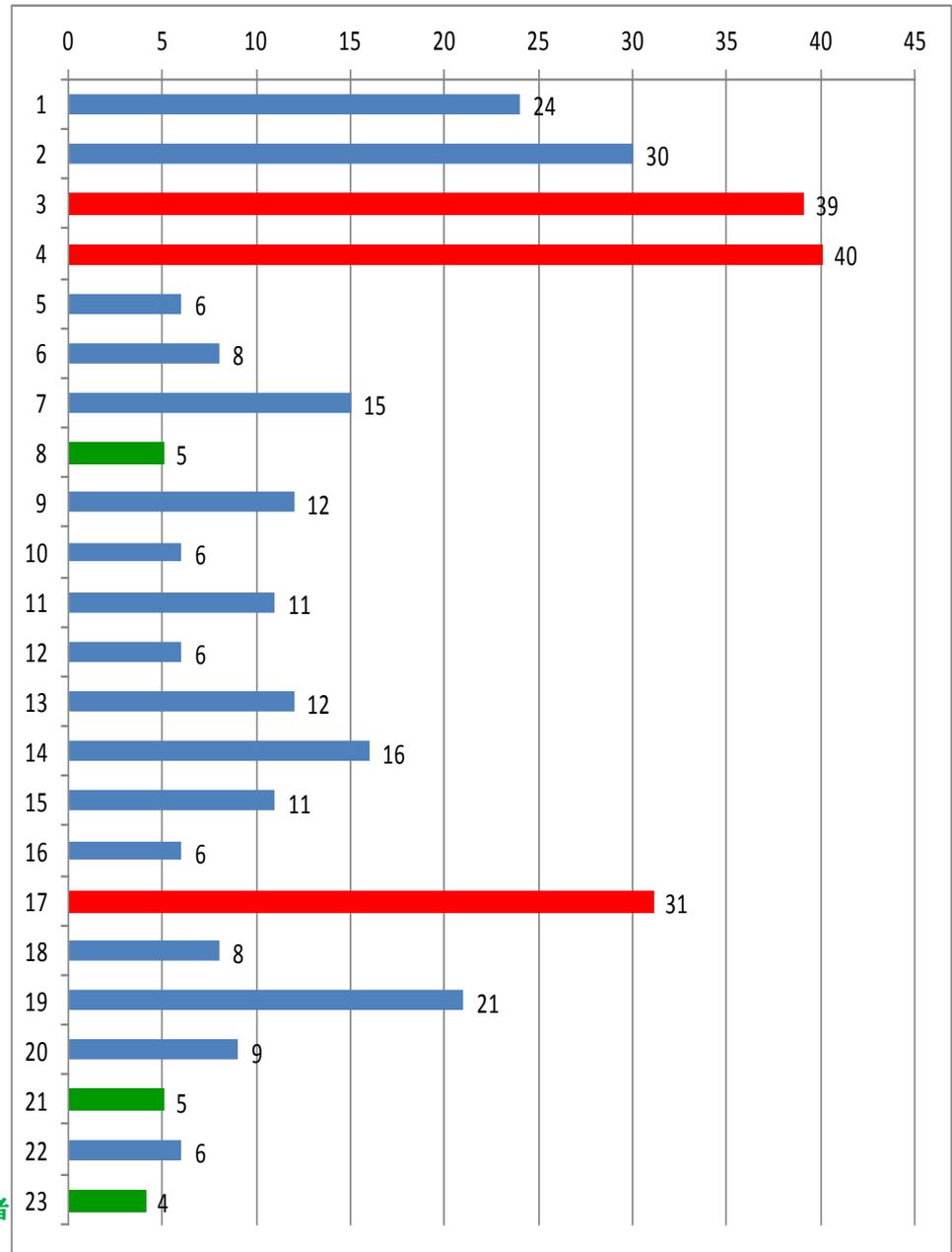
基礎・技術編アンケート1(参加者の習得度・研修前後)

No	項目	(1)研修前	(2)研修後 ①	②
1	健診結果等から身体変化やリスク及び生活習慣との関連が説明できる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
2	行動変容ステージ、ライフスタイル等から対象者のアセスメントができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
3	生活習慣について、何から改善することが可能か対象者とともに考えることができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
4	対象者の健康感を尊重しつつ、対象者の前向きな自己決定を促す支援ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
5	集団的支援(グループワーク等)ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
6	継続的なフォローアップができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
7	保健指導の評価から、保健指導方法の改善ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
8	栄養学および食事摂取基準、関連学会ガイドラインの食事療法について理解している	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
9	食事と生活習慣病の関連が説明できる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
10	代謝の調整とエネルギー・栄養素、食品との関連が説明できる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	

11	食物摂取状況や食行動等に関するアセスメントができ、対象者にあった食生活の改善ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
12	運動生理学、体力測定・評価等に関する基礎知識を理解している	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
13	身体活動・運動と生活習慣病の関連が説明できる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
14	身体活動・運動の量についてアセスメントし、対象者に合った支援ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
15	運動に関するリスクマネジメントができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
16	保健指導が終了した後も運動習慣が継続するための社会資源を紹介できる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
17	たばこと生活習慣病の関連が説明でき、対象者の状況に合わせた禁煙支援ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
18	職場や家庭等の禁煙環境の改善について相談に乗ることができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
19	アルコールと生活習慣病の関連が説明でき、適正飲酒の支援ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
20	多量飲酒のリスクを適切に把握し、必要に応じて専門機関等へつなげることができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
21	科学的根拠に基づいた適切な教材を選定でき、必要に応じて教材の開発ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
22	対象者の理解に合わせた効果的な学習教材を選定でき、教材の改善や開発ができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
23	2年連続して特定保健指導の対象となった者等の行動変容が困難な対象者の状況に応じて、教材の内容をステップアップさせることができる	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	

H25年度 アンケート1の結果(特に理解が深まった項目)

- 1 健診結果等から身体変化やリスク及び生活習慣との関連が説明できる
- 2 行動変容ステージ、ライフスタイル等から対象者のアセスメントができる
- 3 生活習慣について、何から改善することが可能か対象者とともに考えることができる
- 4 対象者の健康感を尊重しつつ、対象者の前向きな自己決定を促す支援ができる
- 5 集団的支援（グループワーク等）ができる
- 6 継続的なフォローアップができる
- 7 保健指導の評価から、保健指導方法の改善ができる
- 8 栄養学および食事摂取基準、関連学会ガイドラインの食事療法について理解している
- 9 食事と生活習慣病の関連が説明できる
- 10 代謝の調整とエネルギー・栄養素、食品との関連が説明できる
- 11 食物摂取状況や食行動等に関するアセスメントができ、対象者にあった生活の改善ができる
- 12 運動生理学、体力測定・評価等に関する基礎知識を理解している
- 13 身体活動・運動と生活習慣病の関連が説明できる
- 14 身体活動・運動の量についてアセスメントし、対象者に合った支援ができる
- 15 運動に関するリスクマネジメントができる
- 16 保健指導が終了した後も運動習慣が継続するための社会資源を紹介できる
- 17 たばこと生活習慣病の関連が説明でき、対象者の状況に合わせた禁煙支援ができる
- 18 職場や家庭等の禁煙環境の改善について相談に乗ることができる
- 19 アルコールと生活習慣病の関連が説明でき、適正飲酒の支援ができる
- 20 多量飲酒のリスクを適切に把握し、必要に応じて専門機関等へつなげることができる
- 21 科学的根拠に基づいた適切な教材を選定でき、必要に応じて教材の開発ができる
- 22 対象者の理解に合わせた効果的な学習教材を選定でき、教材の改善や開発ができる
- 23 2年連続して特定保健指導の対象となった者等の行動変容が困難な対象者状況に応じて、教材の内容をステップアップさせることができる



基礎・技術編アンケート2(参加者の理解度・意見)

① 今回の研修会に参加して特定健診・保健指導の知識が深まりましたか？

1. 知っていることばかりだった 2. 深まった 3. 大変深まった

② 今回の研修会は今後の業務に役立ちますか？

1. 役立たない 2. あまり役立たない 3. 役に立つ 4. かなり役に立つ

日時	カリキュラム	知識の理解度
		1: 全くわからなかった 2: あまりよくわからなかった 3: 大体わかった 4: よくわかった
1 日 目	9:40～12:00	特定健診・特定保健指導 総論 ～ナショナル分析データから分かること、性・年代別の特長と対策～
	13:00～13:30	メタボリックシンドロームと検査値の関連
	13:40～14:40	食事による保健指導
	14:50～15:35	日常生活に取り入れやすい運動 ～新)身体活動基準2013を踏まえて～
	15:45～16:30	行動変容を促す禁煙支援のポイント
2 日 目	9:45～10:15	保健指導に使える！ 歯科の健康と生活習慣病の関連
	10:25～12:15	行動科学の視点から見た保健指導アプローチ
	13:15～14:45	事例から考える～見えていますか？対象者の気持ち～
	14:55～15:40	保健指導の評価について

2 特定健診・保健指導について、疑問点やさらに知りたいことがあればご記入ください。

3 研修会についてのご意見をお聞かせください。

アンケート2の結果(全体の評価)

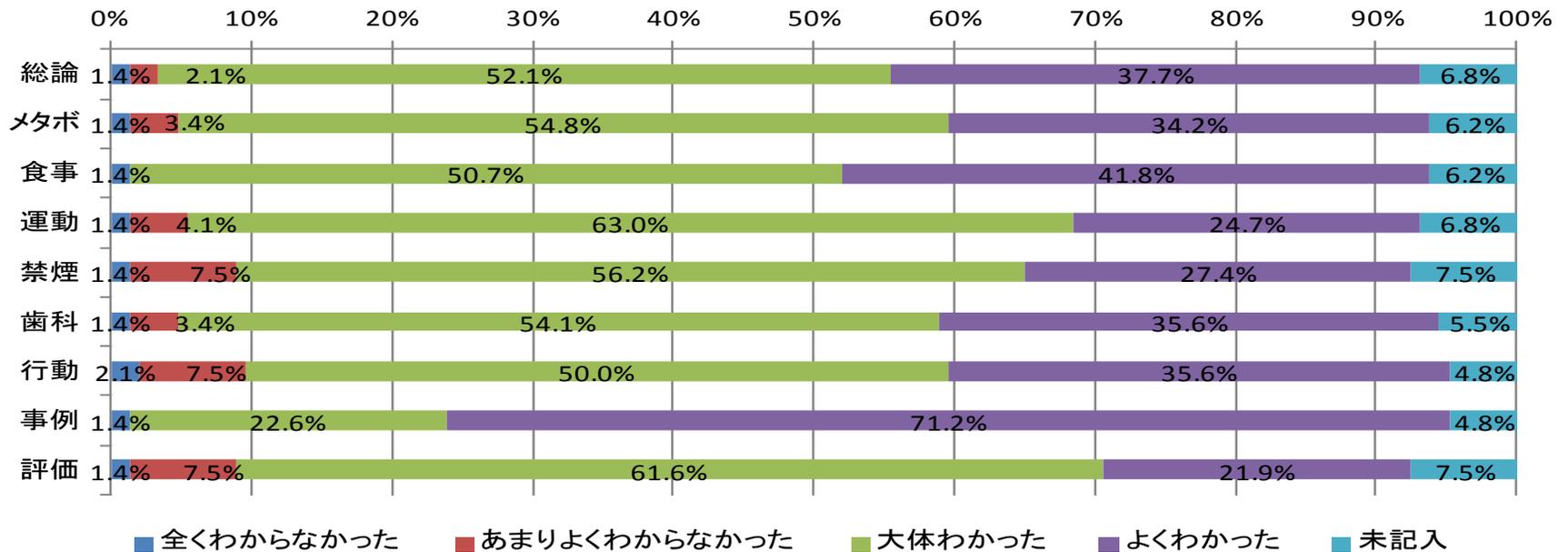
1 今回の研修に参加して特定健診・保健指導の知識が深まりましたか？(知識の習得度)



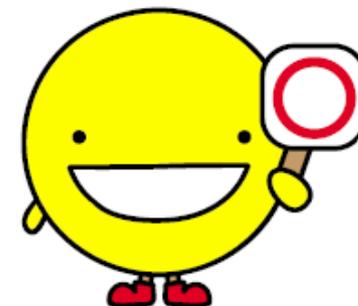
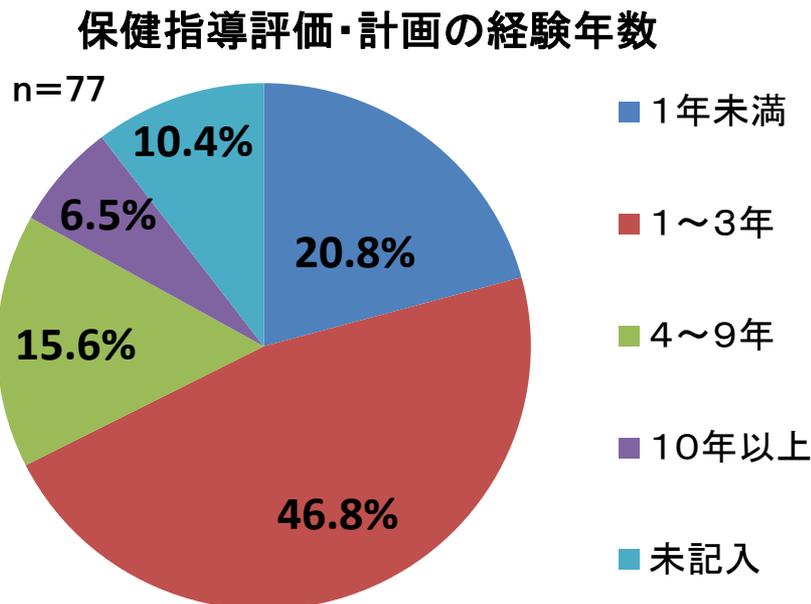
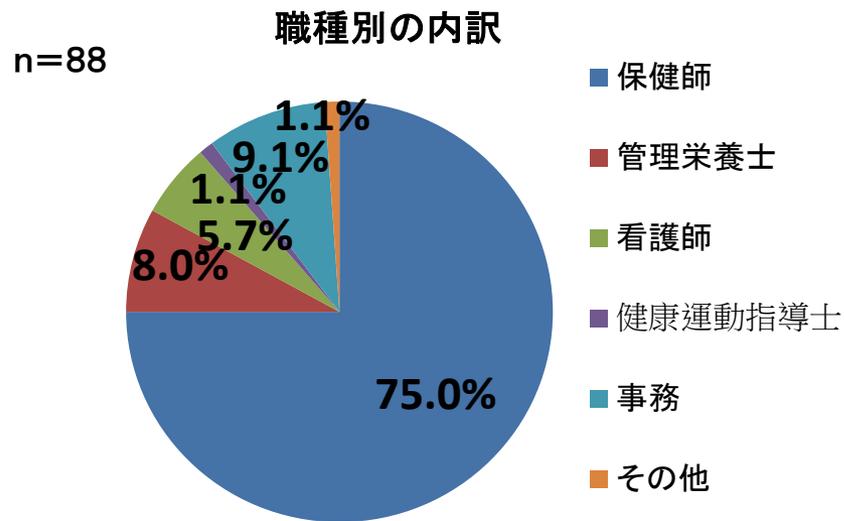
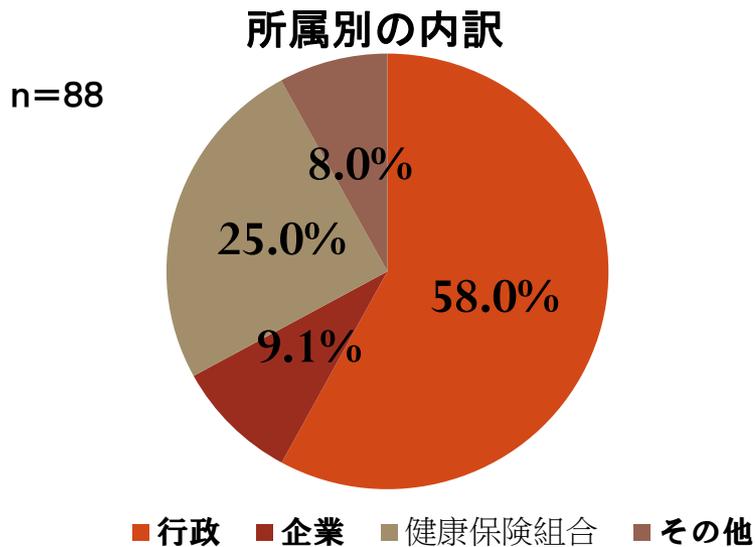
2 今回の研修会は今後の業務に役立ちますか？(カリキュラムの充実度)



3 各カリキュラムの理解度



平成25年度 計画・評価編参加者の状況



計画・評価編アンケート(参加者の理解度・意見)

(1) 研修前: 下記項目の理解度について、4段階で評価して○をつけて下さい。

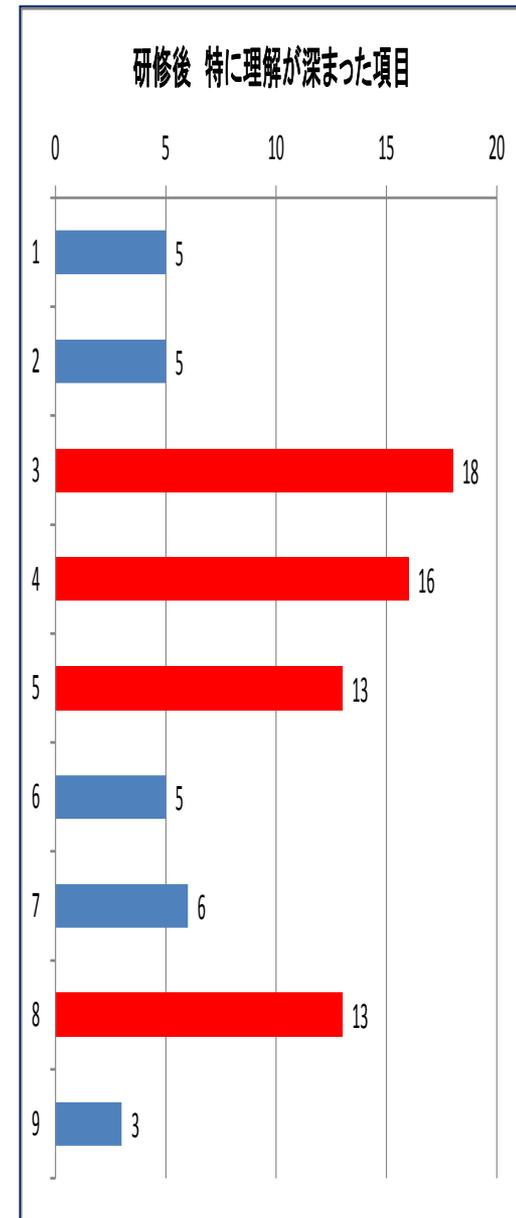
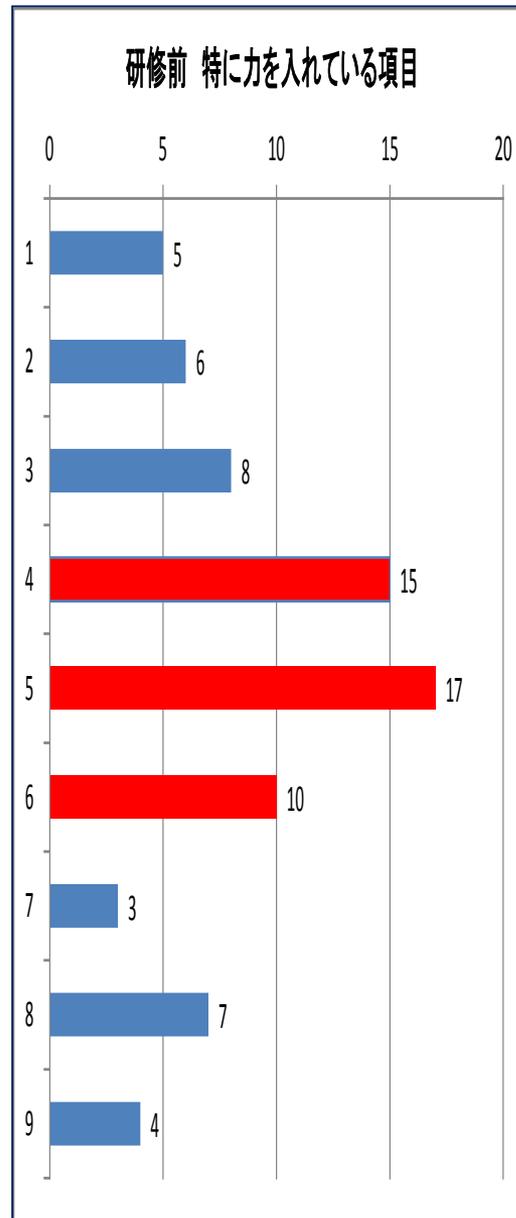
(2) 研修後: ①下記項目の理解度について、4段階で評価して○をつけて下さい。

②特に理解が深まった項目には○をつけて下さい。

No	項目	(1) 研修前	(2) 研修後 ①	②
1	特定保健指導第2期計画、改訂版標準プログラムの内容を理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
2	保健事業におけるPDCAサイクルについて理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
3	集団全体において、健康課題を分析する方法について理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
4	健康課題から事業計画を立てることについて理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
5	対象者の評価から、保健指導方法の改善を行うことについて理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
6	対象者の評価から、企画段階やプログラムの評価を行うことについて理解している。(プロセス評価)。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
7	費用対効果や最終評価から、事業全体の評価を行うことについて理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
8	評価結果を事業の改善につなげることについて理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	
9	社会資源を活用した実施体制を構築する方法について理解している。	低 1 2 3 4 高	低 1 2 3 4 高	

H25年度 アンケート1の結果(特に理解が深まった項目)

- 1 特定保健指導第2期計画、改訂版標準プログラムの内容を理解している。
- 2 保健事業におけるPDCAサイクルについて理解している。
- 3 集団全体において、健康課題を分析する方法について理解している。
- 4 健康課題から事業計画を立てることについて理解している。
- 5 対象者の評価から、保健指導方法の改善を行うことについて理解している。
- 6 対象者の評価から、企画段階やプログラムの評価を行うことについて理解している(プロセス評価)。
- 7 費用対効果や最終評価から、事業全体の評価を行うことについて理解している。
- 8 評価結果を事業の改善につなげることについて理解している。
- 9 社会資源を活用した実施体制を構築する方法について理解している。



アンケート2の結果(全体の評価)

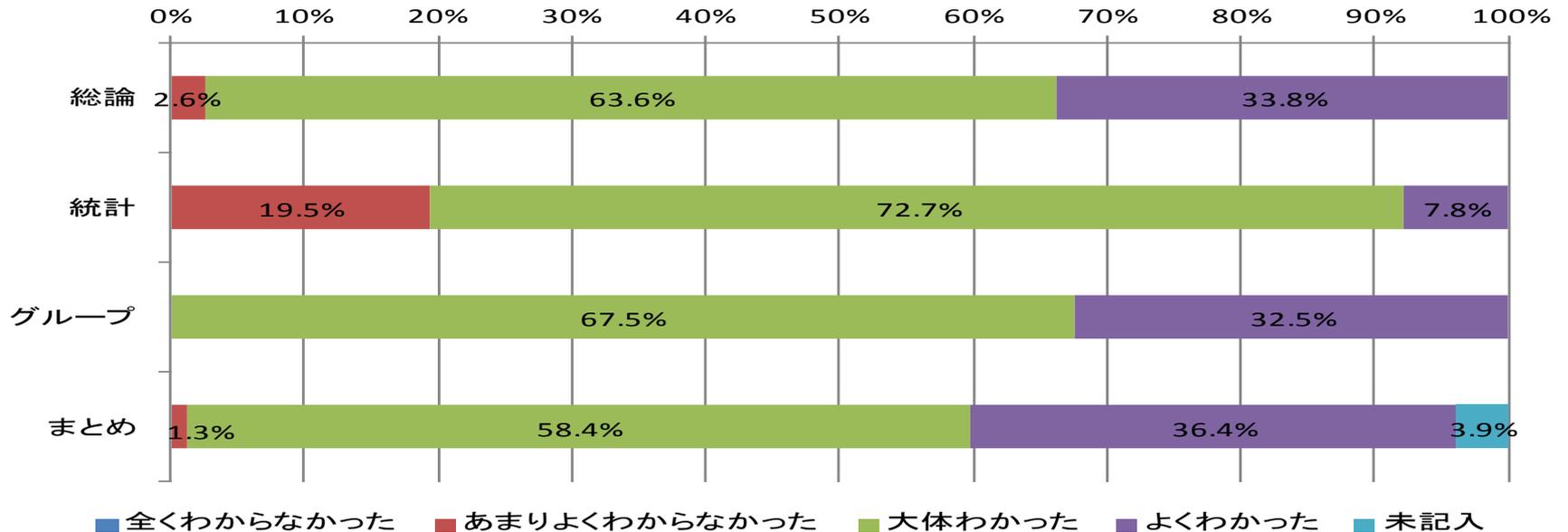
1 今回の研修に参加して特定健診・保健指導の知識が深まりましたか？（知識の習得度）



2 今回の研修会は今後の業務に役立ちますか？（カリキュラムの充実度）



3 各カリキュラムの理解度



平成26年度カリキュラム

○基礎・技術編

<目標>

基本を大切にし、確実な保健指導ができる。

<実施内容>

1日目	2日目
特定健診・特定保健指導 総論 あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代	食事に関する保健指導 あいち健康の森健康科学総合センター 管理栄養士 中村誉
	アルコールについての保健指導 ブリーフインターベーションのポイント 独) 国立病院機構久里浜医療センター 教育情報部長 真栄里 仁
メタボと検査値の関連 アセスメントからの目標設定 あいち健康の森健康科学総合センター 開発部長 村本 あき子	ビデオ映像による事例紹介 独) 国立病院機構久里浜医療センター 教育情報部長 真栄里 仁
運動に関する保健指導 あいち健康の森健康科学総合センター 健康運動指導士 三浦康平	保健指導の評価についてx あいち健康の森健康科学総合センター 保健師 栄口由香里
たばこに関する保健指導 あいち健康の森健康科学総合センター 保健師 村上有希子	まとめ/質疑応答

平成26年度カリキュラム

○計画・評価編

<目標>

特定健診・特定保健指導の結果からデータ分析から実際の保健事業につなげられる。

<実施内容>

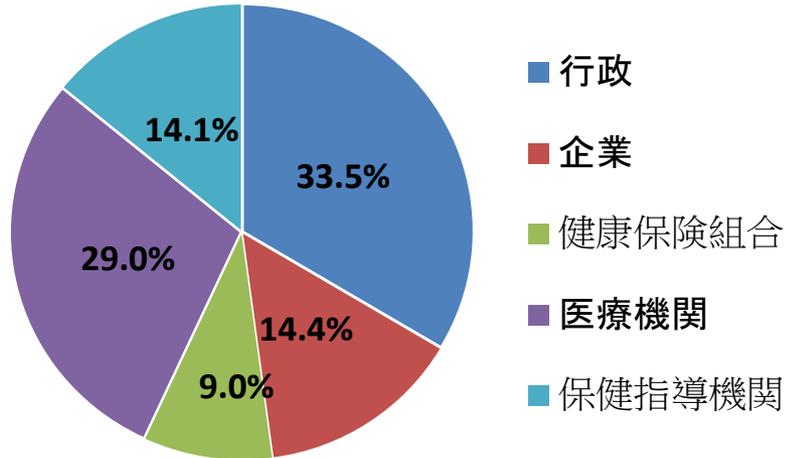
計画・評価編カリキュラム
データ分析からアクションへ ーデータヘルス時代の保健事業ー あいち健康の森健康科学総合センター センター長 津下一代
健康日本21の視点方考える ー地域と職域の連携についてー 愛知県健康福祉部保健医療局 健康対策課 岩田はるみ
事例紹介 「北名古屋市における保健事業の実際」 北名古屋市市民健康部健康課 管理栄養士 佐藤悦子
事例紹介 「健保における健康づくりインセンティブ制度の取組について」 トヨタ自動車健康保険組合 事務長 近藤秀成
グループワーク
まとめ・質疑応答

平成26年度 参加者の状況

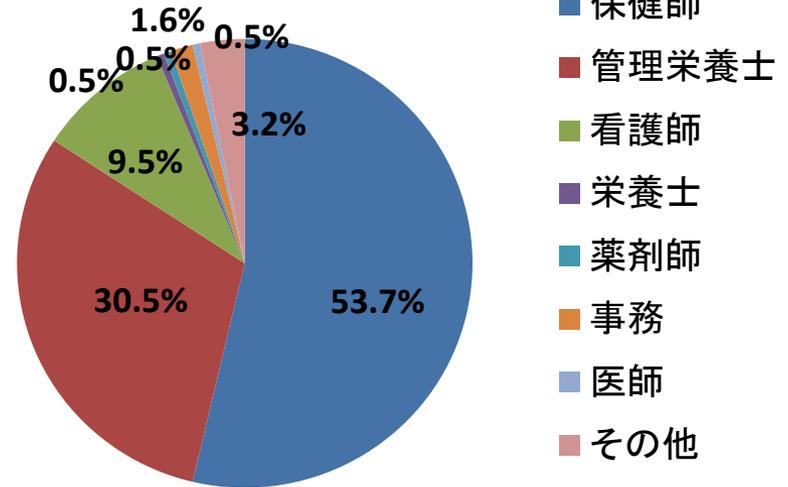
基礎・技術編

n=180

所属別の内訳



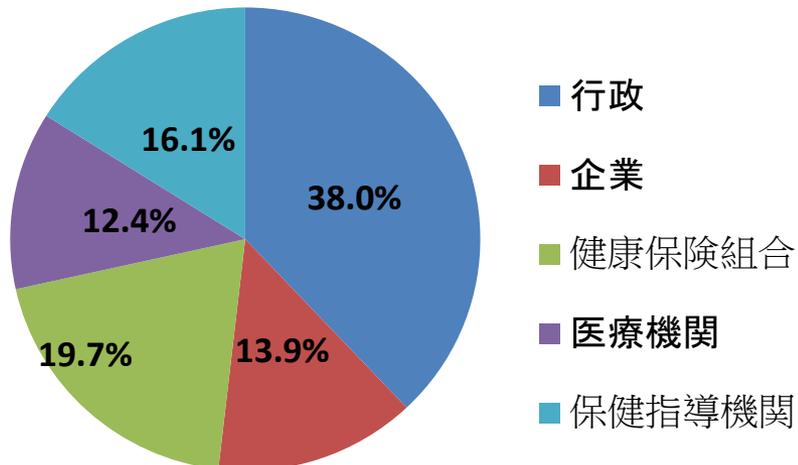
職種別の内訳



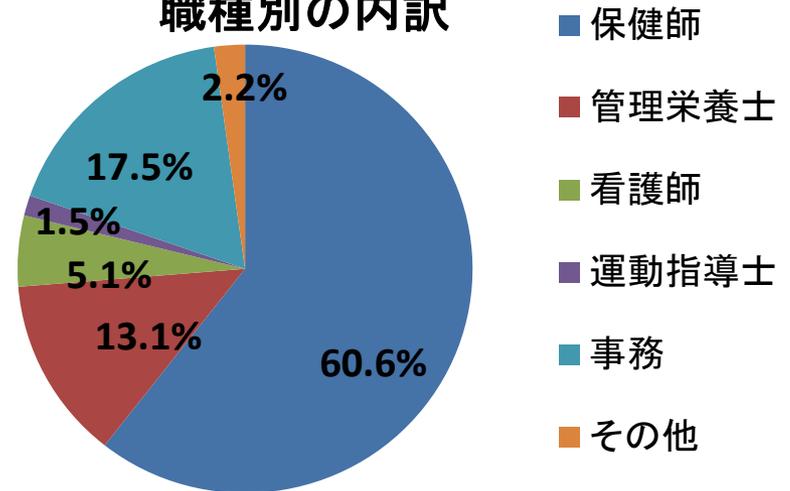
計画・評価編

n=137

所属別の内訳



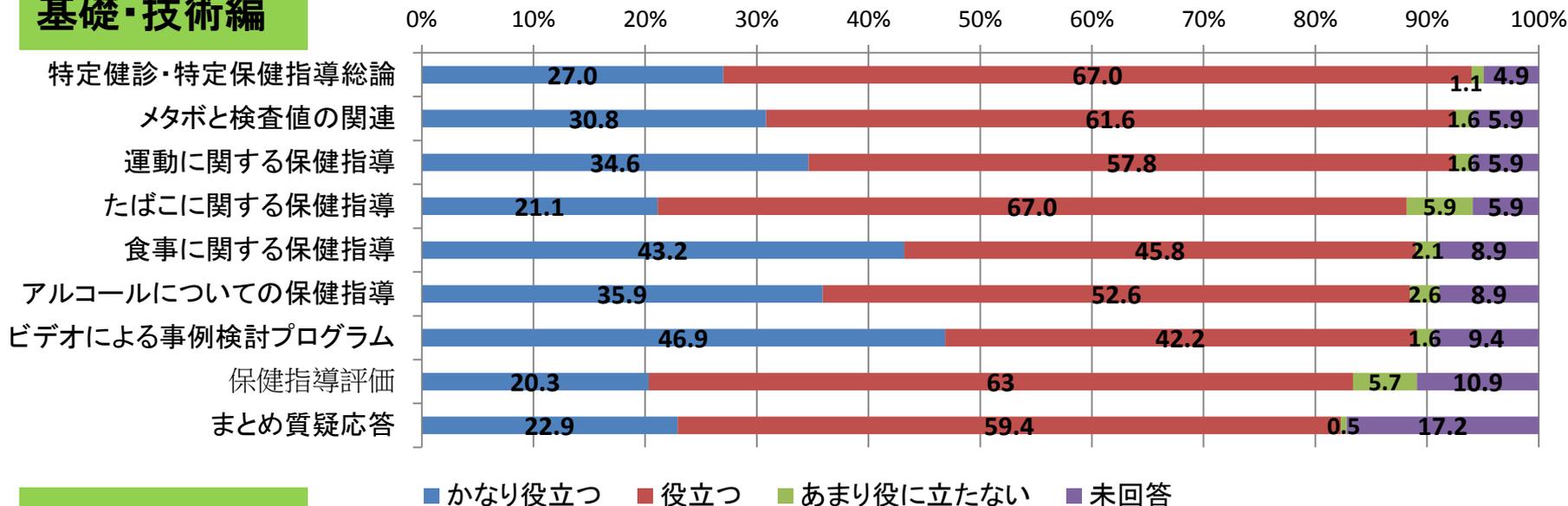
職種別の内訳



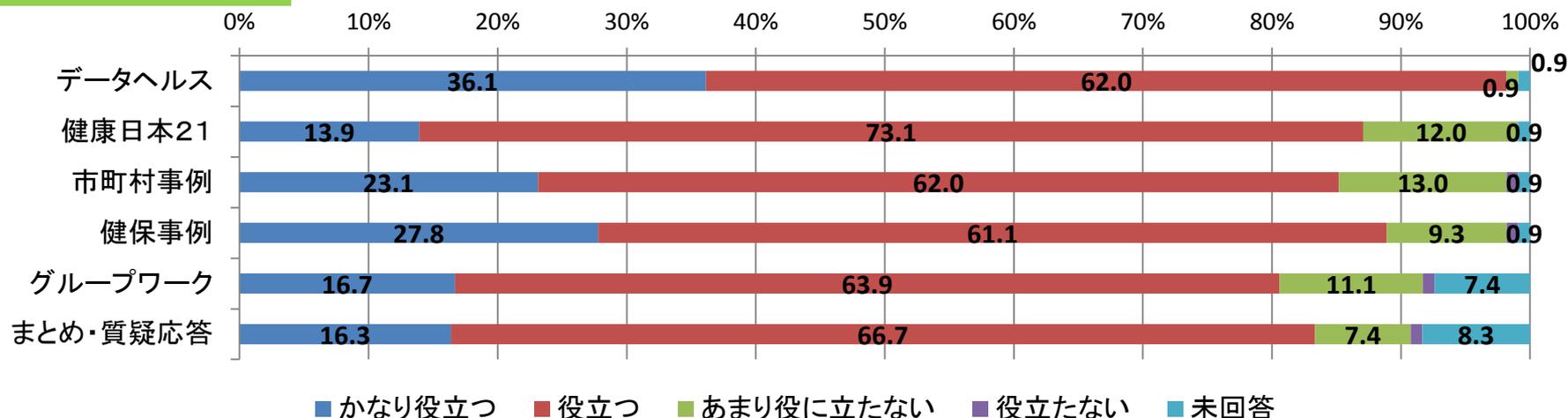
アンケートの結果

研修会は今後の業務に役立ちますか？ (カリキュラム充実度)

基礎・技術編



計画・評価編



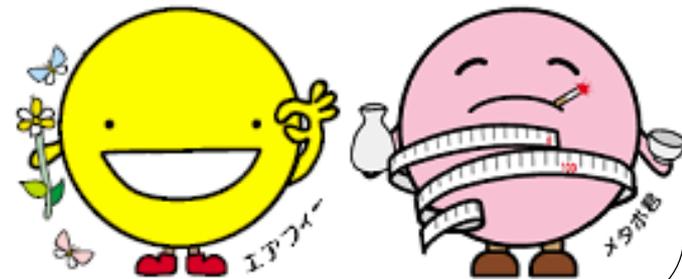
4 今後に向けて

<基礎・計画編>

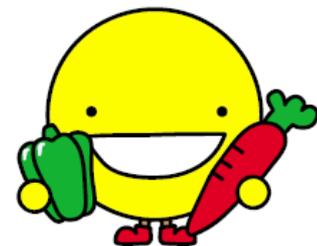
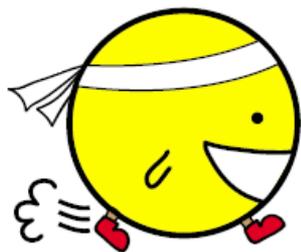
- ・保健指導について初回支援まで準備しておくポイントをおさえる
- ・事例等をとおして、保健指導のスキルアップをめざす

<計画・評価編>

- ・特定健診・特定保健指導の結果から、蓄積したデータを分析し、現状や課題を踏まえて、今後の保健事業を考え、展開できる
- ・課題解決につながる保健事業を推進するため、データヘルス計画の考え方、進め方をおさえる
- ・宿泊型新保健指導など最新の情報提供



愛知県は
「健康長寿あいち」の実現を目指します。



ご静聴ありがとうございました。